

2010年度

科目名	国語科教育法		
担当教員	土山 和久		
配当	日文3	コード	41140
開期	通年	講時	木曜日1限
		単位数	4
授業テーマ	高等学校・中学校における国語科授業の構想 ―現代における国語学習のモデルチェンジ―		
目的と概要	近年の様々な教育改革は、国語科教育にもその本質的な変更を要求しています。本授業では、高等学校あるいは中学校における国語科教育の今日的課題を確認・検討し、教材分析、指導案作成、模擬授業を通して、授業構想および授業実践の基本的能力に培うことを目的とします。受講者の積極的な作業参加を通して、国語科授業実践力を鍛錬する場になることも期待します。		
成績評価法	規定の出席数の充足を評価の前提とし、レポート・課題提出(30%)、授業での発表活動(30%)、期末レポート(40%)から評価する。		
テキスト	全国大学国語教育学会編『新訂 中学校・高等学校国語科教育研究』(学芸図書)		
参考書	授業の中で、随時、呈示する。		
履修に当たっての注意・助言	本講義は教職免許状の必修科目であるため、ミニマムエッセンスの確実な習得を目指します。作業活動およびレポート作成に積極的に参加できる受講生を強く求めます。		
講義計画			
前期：前期は学習指導要領の改訂を踏まえながら国語科教育の今日的課題を確認した上で、学習指導案の基本的な作成方法を考究し、さらに、私の模擬授業を通して、文学の授業における様々な指導法および授業作りの要点に出会ってまいります。			
1回：問題設定；国語科教育の今日的課題 2回：活用の時代に求められる国語学力 3回：国語科学習指導案の作成 その1 4回：国語科学習指導案の作成 その2 5回：三読法の模擬授業 6回：三読法の理論的特質 7回：一読総合法の模擬授業 8回：一読総合法の理論的特質 9回：分析批評の模擬授業 10回：分析批評の理論的特質 11回：読者論の模擬授業 12回：読者論の理論的特質 13回：文学の授業における生産的方法 その1 14回：文学の授業における生産的方法 その2 15回：国語科メディア教育の立場から読むことを捉える			
後期：後期は受講生による模擬授業形式で、教材分析、授業構想、授業実践の力を身につけてもらいたいと思います。			
1回：オリエンテーション 2回：説明文教材の模擬授業 その1 3回：説明文教材の模擬授業 その2 4回：評論文教材の模擬授業 その1 5回：評論文教材の模擬授業 その2 6回：詩歌教材の模擬授業 その1 7回：詩歌教材の模擬授業 その2 8回：物語教材の模擬授業 その1 9回：物語教材の模擬授業 その2 10回：古典教材の模擬授業 その1 11回：古典教材の模擬授業 その2 12回：国語表現の模擬授業 その1 13回：国語表現の模擬授業 その2 14回：国語表現の模擬授業 その3 15回：授業の総括			